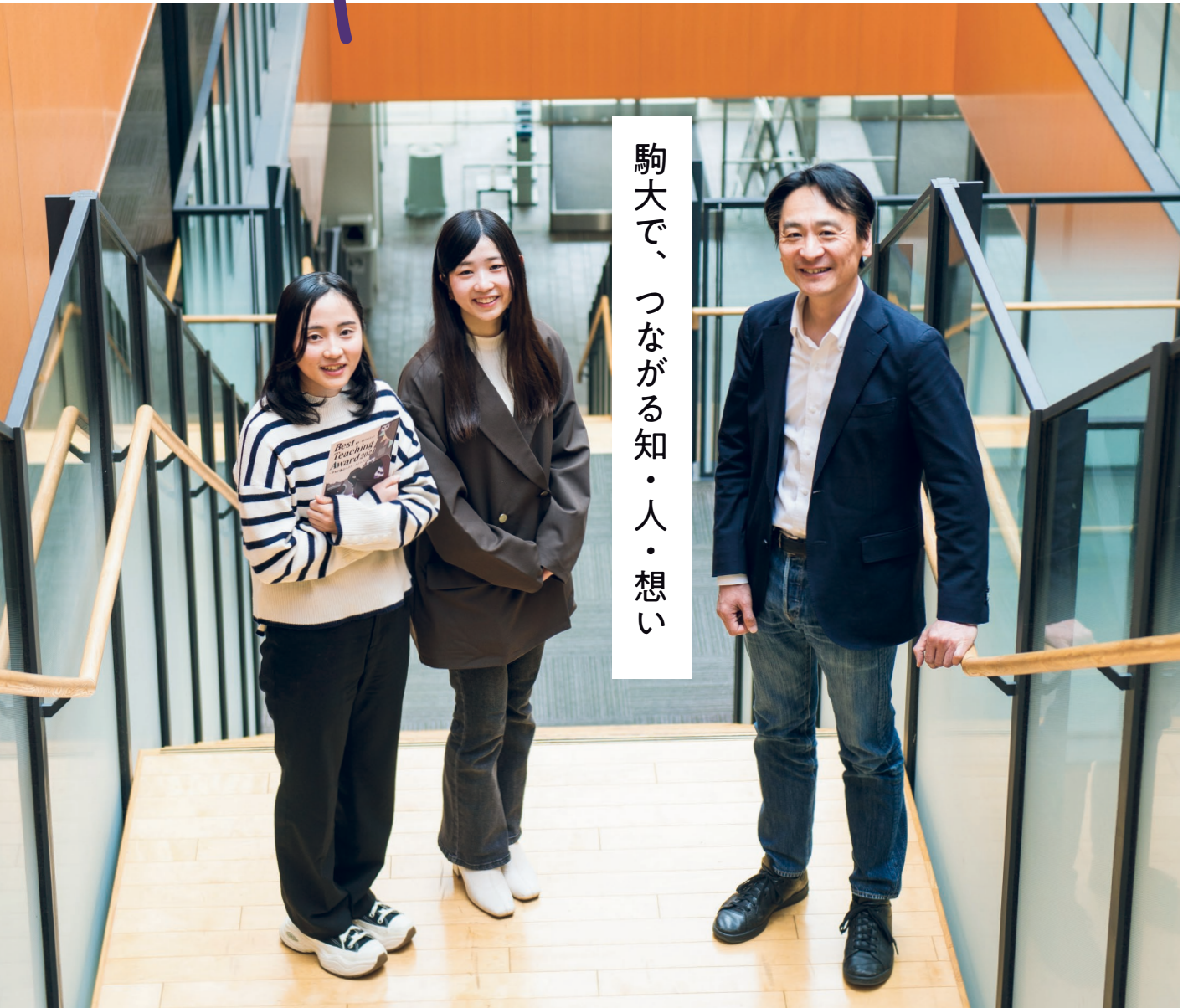


KOMAZAWA x Connect Konnect



駒大で、
つながる知・人・想い

APRIL, 2026

FREE MAGAZINE

INSIDE Konnect



学びとこころの春支度

新年度を迎えるみなさんへ 学長からのメッセージ



- ▶ KOMAZAWA CROSS [教務部長] × [学生FDスタッフ]
- ▶ 駒澤大学が“もっと”好きになる Web メディア 駒大 PLUS α
- ▶ 支援の達人。「教務部編」
- ▶ 駒澤日和 駒大ピンチ対処法

VOL.
359



新年度を迎えるみなさんへ

学長からのメッセージ

新年度を迎えるにあたり、駒澤大学のみなさんに、仏教の言葉に託してエールを贈りたいと思います。

「二期一会」この瞬間は二度とありません。

授業、友達との会話、部活動、挑戦の機会……。

学生時代の一日は、かけがえのない時間です。

「今」を大切にすれば、未来の自分がきっと感謝します。(村松哲文)

Q. 村松学長の思う駒澤大学の強み・特徴を教えてください

A. 一番の特徴であり強みでもあるのは、「仏教の教え」と「禅の精神」を建学の理念としていることです。簡単に表すのは難しいですが、あえて一言にすると「人間教育」といえるかもしれません。学問知識を身につけることはいうまでもなく、人間として正しく生きる術を身につけ、他者のために生きることとを学べる大学である、ということです。

Q. 駒大生のよいところは？また、どんなところに伸びしろを感じますか

A. よいところは、素直なことですね。ただ、素直なだけでは人に流されることもあるので、「なんでだろう」という疑問をもち、「真実を見抜く力」を意識してもらいたいですね。これが伸びしろだと思います。

Q. 新生には、駒澤大学でどんな4年間を過ごしてほしいですか

A. 専門の勉強のみならず、興味のある分野をとことん探究してください。併せて、分野を問わずたくさん本を読んでください。また博物館や美術館に行って、多くの芸術作品に触れてもらいたいですね。



学長 村松 哲文

1967年、東京都生まれ。駒澤大学文学部卒業、早稲田大学大学院文学研究科芸術学美術史専攻博士後期課程単位取得退学。専門は仏教美術史・禅美術。本学では、2005年仏教学部専任講師、2009年同学部准教授を経て、2015年同学部教授。2021年4月～2025年3月禅文化歴史博物館長、2021年9月～2022年3月学術研究推進部長を経て、2025年4月に学長に就任。2021年よりNHK「趣味どきっ!」の「アイドルと旅する仏像の世界」の講師を務め、著書には『駒澤大学仏教学部教授が語る 仏像鑑賞入門』（2022年／集英社新書）ほか。監修書には『疑問がすべて解ける 超図解 仏像大事典』（2025年／朝日新聞出版）ほか。

新入生と新2・3・4年生へ 仏像とめぐる、学生生活のヒント

新入生のみなさんへ

【おすすめ仏像】 もんじゅのぼさつぞう 文殊菩薩像



【おすすめする理由】 「三人寄れば文殊の智慧」というように智慧の象徴です。多くの友人を作り自分の意見と違う人が多いことを知りましょう。意見の違いから新たな自分を発見できることも。

【会いに行ってみよう】 大和の安倍文殊(奈良県・安倍文殊院)、丹後の切戸文殊(京都府・智恩寺)、出羽の亀岡文殊(山形県・大聖寺)が日本三大文殊とされ、世田谷区内では招き猫で有名な豪徳寺に文殊菩薩像が祀られています。



豪徳寺山門(東京都)

新学年を迎えるみなさんへ

【おすすめ仏像】 はんかしのぞう 半跏思惟像



【おすすめする理由】 考えにふける姿だからです。周囲に流されず、立ち止まって静かに見つめなおす勇気ももらえます。

【会いに行ってみよう】 広隆寺(京都府)と中宮寺(奈良県)の半跏思惟像はどちらも国宝(広隆寺の像は、国宝彫刻の部第1号)。キャンパスから足を運びやすい都内であれば、東京国立博物館に重要文化財の半跏思惟像が保管されています。ちなみに半跏思惟像は弥勒菩薩像です。



広隆寺(京都府)

最終学年のみなさんへ

【おすすめ仏像】 ふどうみょうおうぞう 不動明王像



【おすすめする理由】 炎を背負った怒りの表情が自分を律してくれます。最終学年は「この道でよいのか?」と迷うことがあるでしょう。つい楽な方向に流されそうになった時、戦う姿勢を示してくれます。不動明王像の怒りは実は慈悲の精神。その強い精神で社会に出ても頑張ってください。

【会いに行ってみよう】 「関東三大不動尊」の「三大」には諸説ありますが、成田山新勝寺(千葉県)と高幡不動尊金剛寺(東京都)は必ず含まれます。



成田山新勝寺公園(千葉県)

A. 一年目は手探りで仕事を知る年でした。二年目は「種をまいて根を張る年」にしたいです。

Q. 就任二年目を迎えた今年度、学長として心がけたいことを教えてください

A. 公園の池に落ちて、「いけね〜」と叫んで友人に笑われたこと。

Q. 学長の学生時代で、今でも忘れられないエピソードを教えてください

なお、駒澤大学は上野にある「東京国立博物館」のキャンパスメンバーズと「国立科学博物館」の大学パートナーシップに加入しているので、駒大生は学生証を提示すると常設展示が無料で観覧できます。ぜひ活用してください！

駒大PLUS⁺

Webメディア「駒大PLUS」に掲載された村松学長のインタビューでは、学長就任時の心境や駒大の魅力をカレーライスに例えて語っています。



check!



“受けている”だけが授業じゃない!?

[教務部長] 畠山寛 教授 × [学生FDスタッフ] 井ノ口愛彩さん、飯島菜摘さん

FD委員会は、よりよい授業や学習環境をめざす教職員の組織。

そこに、学生の視点で「よい教育」を考える学生FDスタッフが加わり10年が経ちました。

学生の意見は大学に届いているのでしょうか。

FD: Faculty Development



教務部長 総合教育研究部 教授

はたけやま ひろし

畠山 寛 先生

「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」を3度受賞しBTAの殿堂入りを果たす。2025年度に教務部長としてFD委員を務め、FD活動に従事。

文学部 国文学科 4年

いのくち あい
井ノ口 愛彩 さん

BTA受賞科目を履修して実感した講義の面白さを多くの人に伝えようと、10期募集に応募して学生FDスタッフに参画。

経済学部 商学科 4年

いじま なつみ
飯島 菜摘 さん

新入学時のサークルフェスティバルで学生FDスタッフを知り参加。以来8・9・10期を務める。次年度も継続の予定。

BTA: Best Teaching Award。学生FDスタッフが企画・運営し、全学生の投票で決まる「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」の略称。

学生より教員の方がBTAを知っている?

畠山 教授 2025年度より教務部長としてFD委員になりました。

学生FDスタッフの皆さんは、普段どのような活動をしていますか。

飯島 さん スタッフ会議を週に1度開いています。

井ノ口 さん 1回あたりは短く、昼休みに集まる30分くらいの会議です。

畠山 教授 普段から活動は活発なようですが、2人とも学生FDスタッフの活動をもっと知ってほしいですね。私は、BTAは知られていないと感じているのですが、十分ではないのでしょうか。

井ノ口 さん 授業アンケートの昨年の投票率は、全学生の40%でした。この数字はもっと上げられると思います。そのためにも、BTAが大学や授業にどのように影響しているのか、効果を可視化してより広く伝えたいと思います。

飯島 さん 改善策の効果なのか、以前と比較し、BTAの投票制度自体は知られてきていると感じています。しかし、企画・運営を学生FDスタッフがやっていることは知られていない。投票を誰が集計し、その結果がどのように公表されたり使われたりしているかについて、十分に広報できていないように思います。

畠山 教授 具体的には、どのようなことで、そう感じますか。

飯島 さん 一例を挙げれば、今年度のサークルフェスティバルで設けた学生FDスタッフのブースに『BTA』の冊子を手にした学生が来て、「こんなよい冊子を作っていたんですね」と、笑顔で伝えてくれました。このこと自体はとても嬉しかったのですが、一方でまだ私たちの存在は知られていなかったのか、とも痛感しました。

た学生FDスタッフのブースに『BTA』の冊子を手にした学生が来て、「こんなよい冊子を作っていたんですね」と、笑顔で伝えてくれました。このこと自体はとても嬉しかったのですが、一方でまだ私たちの存在は知られていなかったのか、とも痛感しました。

畠山 教授 じつは教員はBTAをよく知っていますし、結果を気にして受賞した私に、「先生、どうしたら賞を取れるの?」と聞いてくる教員もいました。

飯島 さん 確かにBTAに選ばれた先生にインタビューすると、受賞をととても喜んでくださっていることが伝わってきます。

「よい授業」とは

畠山 教授 ところで、皆さんにとって「よい授業」とは、どのような授業でしょうか。

井ノ口 さん 私が思うよい授業は、講義であっても一方通行でないこと。例えば授業終わりに書いたコメントシートの内容について次の授業で振り返ったりしてもらえると、授業と一緒に作っている感じがします。

飯島 さん 私は、のめり込める授業です。あとで「家で調べてきて」と言われるより、「この授業の時間内に一緒に頑張ろう」と背中を押された方が集中できます。とはいえ集中力が90分間保つことは難しいので、時に雑談などを交えつつ行われる授業に没入感を感じます。

履修科目の選択に役立ててほしい

井ノ口 さん 私が学生FDスタッフになったきっかけは、BTAを受賞した授業を受けてみたら本当に面白くて、さらにその面白さを伝える学生の活動があることを知ったからでした。そのようにBTAの結果を授業選択の参考にしてほしいです。

飯島 さん 私も、BTAの受賞授業は、やはりよい授業だなと思いました。以前、新入生に配付する資料やチラシと一緒に『BTA』の冊子も渡そうという案がありましたよね。

畠山 教授 それを実現するためには、発行部数を大幅に増やす必要があるようです。予算が取れたら、ぜひ新入生全員に配付したいですね。今回、初めて学生FDスタッフと直接話をする機会を持てました。これをきっかけにして、毎週の会議に一度参加させてもらえないでしょうか。皆さんの意見やアイデアを、もっと聞かせてください。

FDの活動はこちら



授業づくりや学びの向上を目指す活動を紹介しています。あなたもFDの活動に参加してみませんか?

駒澤大学が“もっと”好きになるWebメディア



駒大PLUS⁺

アルファ

「駒大PLUS」は、駒澤大学が“もっと”好きになるWebメディア。
 学生の活動や活躍、教員の教育研究や著書など、駒大のリアルを伝える
 最新情報のほか、社会で頑張っている卒業生のレポートや
 季節ごとの仏教行事などについても発信しています。

「駒大PLUSα」では、それらの中から選りすぐった注目記事を紹介しています。



<https://plus.komazawa-u.ac.jp/>

注目のインタビュー&コラム



学びと研究

駒澤大学のアイデンティティー
 必修科目「仏教と人間」の活かし方

仏教 # 禅 # 授業 # インタビュー



学びと研究

日曜日のキャンパスに響き渡った、
 子どもたちの笑い声と歓声

授業 # ゼミ # インタビュー



駒大リアル

サークル活動にも熱中した
 韓国交換留学の日々

学生生活 # 語学 # インタビュー # 国際交流



Rating
3

駒大リアル

駒沢キャンパスで
 100円モーニング!

学生生活 # 健康



ラボ駅伝

駒澤大学で行われている研究を駅伝競走になぞらえ、
 リレー形式で紹介する連載コンテンツです。創造的
 でユニークな研究を通して見えてくる「駒大の魅力」
 をお伝えします。



Rating
1

フォトギャラリー

駒澤大学の「いま」を映し出す、フォトギャラリー。
 「陸上競技部 箱根駅伝」「深沢キャンパス秋の庭園開
 放」「スポーツフェスティバルin玉川」「オータムフェ
 スティバル」など。

最新記事から



LATEST
3月
UP

学びと研究

入学前後のあらゆる不安は
 「新入生セミナー」が解決します!

授業 # 学生生活 # 新入生
 # キャリア



SCAN ME!



LATEST
4月
UP

学びと研究

シアトルにもGO!
 実体験重視の「データサイエンス・AI教育」

授業 # 学生生活 # インタビュー
 # データサイエンス # AI



SCAN ME!



LATEST
3月
UP

駒大クエスト

種月館の地下には何が?
 最先端医療を支える「リニアック室」の秘密

授業 # 学生生活 # インタビュー
 # 医療 # 健康



SCAN ME!

支援の達人。03

教務部 編

『履修要項』と「KONECO」を見ながら
計画的な履修登録を



INTERVIEW
教務部 教務課 教務1係
鈴木 翔太 さん

入職当初は大学の物品管理等を行う管財部に配属。2024年度からは教務部教務1係に異動し、学部生(1~4年次生)の学修支援を担当。学生対応で心がけていることは「傾聴すること」。大学や学部の規定に基づき、学生一人ひとりの不安や疑問を解消できるよう対応を行っている。

4月
新入生オリエンテーションで
お目にかかっています

教務部には教務課と学務課があり、私が所属する教務課教務1係は、学部生の学修をサポートする係です。普段は本部棟1階、教務部の7番から10番窓口で、学生さんの問い合わせや相談に対応しています。

「学修支援」といっても、履修や成績、試験、卒業論文など業務内容は多岐にわたります。また、奨学金を受け取る学生や、編入学・留学する学生への対応、障がい学生支援に係る業務については、関係部署と連携して受給要件の管理、前出校・留学先で取得した単位の認定、支援を必要とする学生の学修環境の整備(授業や試験における配慮)を行っています。ちなみに、新入生オリエンテーションで、履修登録や単位修得に関する規定や手続きについて説明したのも私たちです。また、学修に関する情報を集約して発信するポータル

サイト「KONECO」も教務部で管理しています。

その悩みや困りごと
まずは相談してみませんか

履修登録期間の4月(年度初め)と9月(後期開始時)は、履修登録に関する問い合わせや相談で、毎年多くの学生が窓口を訪れます。質問の多くは、学部ごとに発行し全学生に配付している『履修要項』とポータルサイト「KONECO」に書かれています。まずはこれらの情報をよく確認し、計画的に履修登録を進めましょう。

そうは言っても、初めての履修登録で科目の組み合わせ方や修得した単位の算定の流れに不安を感じる新入生は多いでしょう。もちろん、2・3・4年生の皆さんも、分からないことがあれば、気兼ねなく窓口にお越しください。履修の仕方や単位の計算方法を勘違いしていると、4年間で卒業が難しくなるケースもあ

ります。

なお、窓口が混雑する履修登録期間は、ラーニングサポーター(LS)という大学院生の先輩も皆さんの相談に対応します。学生の皆さんに年齢が近い大学院生ですので、私たち職員よりも気軽に相談できるのではないのでしょうか。

学修に関する相談を伺うなかで、実は別の不安や困りごとが隠れていることも少なくありません。お話を伺うなかでそれらを発見し、必要に応じて専門の部署に案内するのも私たちの重要な仕事だと考えています。学生生活での悩みや困りごとがあれば、まずは教務課の窓口を訪ねてみてください。

履修計画の
スタートは
ここから！



*履修要項は学部ごとに発行されています。

【教務部教務1係(1~4年次生対応)窓口 駒沢キャンパス本部棟1階】

●事務取扱時間 授業期間:平日9時~18時 / 授業期間外:平日9時~17時 ※12:30~13:30を除く

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
期待と希望があふれる学生生活には、時として「しまった!」というときも…!?
ここでは、そんな「ピンチ」を救う処方箋をお届けします。



1 交通機関の運休・遅延で定期試験に遅刻しそう

通学に利用している交通機関の運休や遅延により登校が困難な場合は、当該機関で発行された遅延証明書(15分以上・web遅延証明書不可)を当日中に本部棟1階教務部7~10番窓口にて提出することで、追試験受験申請をすることができます。

2 急に雨が降ってきたのに傘を持っていない



教務部ロビーの学生サービス窓口へお越しください(教職員も利用可)。レンタル傘は、次回来校日に窓口へ返却してください。

3 定期試験の日に体調不良になってしまった

発熱などの体調不良により定期試験を欠席する場合は、必ず当日に医療機関で受診し、加療(治療)期間が明記された診断書を取得してください。診断書の提出により、追試験を受けられる可能性があります。当日に体調不良であったことを証明できない場合は、追試験の申請が認められないことがありますので注意してください。



4 大学内で財布や鍵などの貴重品を落としてしまった



問い合わせ先
学生サービス窓口
03-3418-9059

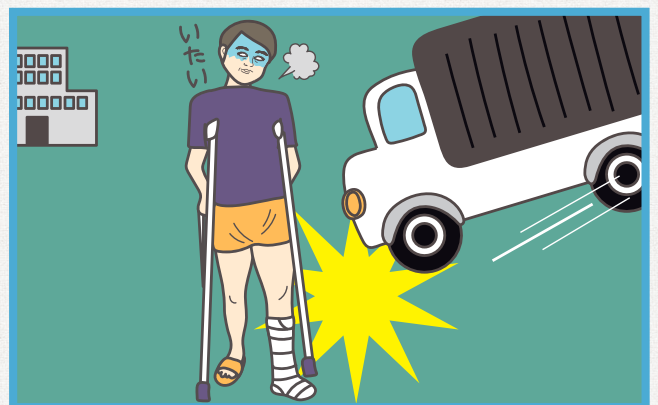


拾得物は、届いた日から3ヶ月間、教務部ロビーの「落とし物展示キャビネット」に展示していますので、ご自身で確認してください。貴重品は窓口で保管しています。なお、現金の保管期間は7日間とし、その後は警察へ移管します。

5 通学中に事故に巻き込まれ入院や治療が必要になった

本学では、教育研究活動中や通学中の不慮の事故に備え、大学が保険料を全額負担して「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。補償の範囲内で保険金が支払われる場合があります。学生支援センター2番窓口(厚生1係)へご相談ください。

問い合わせ先
学生支援センター
厚生1係
03-3418-9873



KOMAZAWA SCENE

この1枚が、今日の駒澤。



©駒大スポーツ新聞編集部

- 作品タイトル 「歓喜」
- 作品のねらい 接戦が繰り広げられる中でホームに帰って得点を追加できた喜びの表情とガッツポーズの迫力を伝える
- 撮影日時 2025/11/10
- 撮影地 明治神宮球場
- 使用カメラ Nikon Z50
- レンズ AF-S DX VR Nikkor 55-300mm 4.5-5.6G ED
- 設定・絞り(F値):f5.6 ・シャッタースピード:1/400秒
・ISO感度:2000 ・焦点距離:405mm

コマスポ

駒大スポーツ新聞編集部(コマスポ)は、駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所に所属している学生メディアです。体育会の練習や試合を取材し、記事の執筆を行い、年4回紙面を発行しています。選手と同じ学生だからこそ伝えられる情報をお届けします。



「Kconnect」とは?

KOMAZAWA × Connect の想いを込めたネーミングです。「学生同士」「学生と教職員」「大学と地域・社会」など、駒澤大学を起点に、学内外で広がる多様なつながりを紹介します。

読者アンケートにご協力ください

「Kconnect」をご覧いただきありがとうございます。今後のコンテンツづくりの参考のため、右記QRコードより皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートは
こちら⇒

